

団員の皆様、改めまして、新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本町におきましては、年末から年始にかけて、穏やかな天候の中で、2026年の新春を迎えることができました。

皆様におかれましては、健やかに、そして、元気に結集されたこととお喜びを申し上げます次第でございます。

また、今日の出初式に、1年の抱負と高い志を持って臨まれたことと推察する次第でございます。

さらに今程は、永年にわたってご尽力いただきました団員の皆様が、消防活動に勤しまれ、そして、多くのご活躍をいただきましたことから、表彰に榮に浴されましたこと、心から敬意と祝意を表する次第でございます。

日頃から、消防団の皆さまには、崇高な消防精神と強い責任感のもと、町民の生命と財産を守るため、日夜献身的に活動いただいております、多忙な生業のかたわら絶えず研鑽を積み、本町の消防力の維持向上に多大なるご尽力をされていることに対し改めて深く感謝を申し上げます。

まちづくりも同様でありまして、使命を果たすためには、難しい課題がたくさんありますが、町民とともに、情報を共有し、理解と納得をいただいた上で、一つひとつ解決していくことが、大切であると考えております。

下川町では、2030年の下川町のありたい姿を掲げ、まちづくりを進めております。

そのありたい姿は、七つのゴールの一つに、挑戦し続けるまちづくりを掲げており、町民が持つ挑戦の心を大切にして、一つひとつ乗り越えていく、そういう努力を惜しまないことが、非常に大事なことでと認識しております。

さて、近年は、気象環境の変化を背景に、豪雨等による災害が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしております。頻発・激甚化する自然災害に立ち向かうためには、行政だけではなく、地域の皆さま一人ひとりが備える力を高めていくことが重要であり、これからの地域のつながりを生かし、互いに支え合う安心の輪を広げながら、災害に強いまちづくりを着実に進めてまいります。

これからの消防活動におきましても、有事の際は、厳しい環境ではありますが、日頃の訓練を重ねられ、最小限の被害に留めるための努力を継続していただき、住民の生命と財産を守っていただくことを、熱望する次第でございます。

結びに、下川消防団のますますのご隆盛、そして、団員の皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

令和8年1月11日

上川北部消防事務組合
副管理者 田村泰司